

さくらそう通信 No12-2

5月15日

4月に咲き誇ったさくらそうもいよいよ終わりになり、淋しいきもちでいっぱいです。名残に花びらを皿の水に浮かべたり、切花にして 家の中で鑑賞したりとじっくりと楽しみました。花びらの形も色も様々にあり、紅色、薄紅、桃色、とき色、紫色、絞り、白色とその魅力に引き付けられます。

来年良い花が咲くようにと、草取り、増し土と作業が続き、漸く一息入れるところまでできました。油断していると気温があがり、どんどん成育するので根元があがってきます。

これからの作業。

◎増し土

◎施肥 薄い液肥を数回与えて、肥培する。

◎除草

◎灌水 陽ざしがつよくなるので、朝、夕2回必要な場合もあります。

◎日よけ 寒さに強いが暑さに弱い性質なので半日蔭の場所を利用する。



左 渡邊文代
文代さんの鉢
花車にてい
るけど、来年
も元気に咲い
てくれるとい
いですね

下2枚 清水義信さんのプランター
植え酔美人 毎年、群生に咲いて目
を楽しませてくれます。



野生のさくらそうです。左は愛鷹山
下は 岐阜県舟伏山で撮影



雲南省産の黄色のクリンソウ
カインズホームで購入